

＜由布市教育方針＞ 「生きる力」を育む学校教育の推進  
 ～知性に富み 心豊かで たくましい 由布のひとづくり～

＜地域のよさ＞  
 ・梨ロード  
 ・神楽  
 ・地域おこし

【学校教育目標】  
**志を持ち 学びを生かす 庄内っ子の育成**  
 ～ふるさとを愛し 平和を愛する子～



＜地域の願い＞  
 ・生活の知恵  
 ・ふるさとへの愛着、誇り  
 ・道徳心

【育成を目指す資質・能力】 **伝え合う力**

**めざす学校像**  
 ◆安心・安全に学べる学校  
 ◆子ども同士で学び合える学校  
 ◆保護者・地域から信頼される学校

**めざす子ども像**  
 ◆基礎基本を確実に身につける子  
 ◆対話的に学び自信を持って表現できる子  
 ◆認め合い思いやりがある子

**めざす教職員像**  
 ◆磨き合い支え合う教職員  
 ◆研鑽を重ねわかる授業づくりに励む教職員  
 ◆情熱と責任感があり信頼される教職員

	授業研究チーム	環境づくりチーム	保護者・地域チーム
育基礎基本を確実に身につける子の	○めあて・課題・まとめ・振り返りの徹底 ・めあて、課題を子どもと設定 ・視点を明確にした振り返りの実施 ○つけたい力を明確にした授業単元プランの作成力向上 ○ステップ学習での基礎基本の定着 ・漢字、計算系統的な取組の提示 ○学びを見取る方法 ・机間指導、振り返りの評価等の工夫 ○ICTを活用した知識・技能の確実な定着（個別最適な学び） ・eライブラリー、由布学等での活用	○宿題点検等のやり直しの指導を徹底 ・系統的な宿題の提示 ・点検の仕方の交流 ○学力の分析・傾向と対策 ・単元末テストの誤答分析、個別指導、全体指導の改善 ・各種学力調査の誤答分析、個別指導、全体指導の改善 ○支援が必要な子どもの状況改善 ・個別の指導計画の作成、関係者の連携 ・ケース会議の充実	○日課や宿題の確認、連絡帳記入（低学年）（保） ○学習習慣の定着を図る声かけ（高学年）（保） ○子どもとの会話から「学びを実感した様子をつかむ（保）」 ○CS委員による学校・学習支援（挨拶・各教科・由布学・園芸・生き方等） ・GTとしての関わり ・GTのコーディネート ○授業参観・評価（地・保）
子対話の育成的に学び表現できる	○対話を用いて課題を解決していく学習過程の工夫（協働的な学び） ・ペア、グループ、全体の学年に応じた活用の仕方 ・子どもの発言をつなぐハンドサインや言葉の日常化 ・ITCを活用し、児童が自ら考えを伝えられる場の設定 ○具体的な条件（必須語句、結論と理由、箇条書き等）に沿って書く力の育成 ○学級外での発表の場（異学年・全校・職員・保護者等）を設定 ○地域・外部への発信 ・由布学の学びを発信する活動	○自らの生活を振り返り、よりよい生活習慣・学習習慣の確立 ・生活目標の設定、反省、発表 ・あいさつ、言葉づかい ○道徳の重点項目指導の見える化 ・教科・特活との関連表を活用 ・子どもの声「道徳の2つの木」 ○「家族団らん推進期間」設定 ・各学期に実施、集約、分析	○「家族団らん推進期間」設定（保） ・親子ふれあいの促進 ・親子読書を行うことによる読書習慣の確立 ○授業参観・評価（地・保）
る認め合い思いやりがある		○仲よしタイムの充実 ・人間関係づくりプログラム実施 ・異学年交流の促進 ○Q-U調査の実施、活用 ・実態把握、対策、学級経営への反映 ○道徳の重点項目指導の見える化 ・子どもの声「道徳の2つの木」	○子どもへの言葉かけの推進 ・話を聞き、褒める認める声かけ（保） ○関係機関との連携 ・SC、SSW、市教委、子育て支援課、児童クラブ等

【働き方改革】

・目標達成と共生を図る2つのコミュニケーションを重視（合意形成・共通理解を図る会議の在り方を工夫）  
 ・働きがいの向上と負担軽減の視点から業務改善